



低空気比運転による省エネ効果

ごみを燃焼させるときに必要な空気を減らして、低空気比燃焼状態でもムラなくごみが燃えるように改造します。

その結果、ごみを燃焼させた際に発生する排出ガス量が減少します。

排出ガス量減少により、誘引送風機の消費電力が小さくなり、省エネ化が図られます。